

(別記)

令和3年度美里地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

1 地域の作付けの現状

本地域は、宮城県北部の大崎耕土の中央から東端に位置し、江合川及び鳴瀬川の2本の一級河川が横断する肥沃な耕土に恵まれた地域である。耕地面積約5,000haのうち約4,700haが水田を占め、その大部分は汎用水田として大区画に整備され、水田農業が盛んな地域となっている。また、本地域の特徴として、地域外の農業者の入作面積の割合が多く、涌谷町、石巻市、東松島市の農業者が耕作する農地もある。

このような中、本地域では、国が主導で進めてきた主食用米の需給調整に積極的に取り組み、大豆、小麦及び牧草を中心に転作を進めるため、ブロックローテーションやほ場の団地化を促進してきた。さらに、需給増加に応じた土地利用型野菜への取り組みも拡大しつつあるなど、経営所得安定対策を最大限活用した作付けが進められている。

(1) 水田面積及び作付率の推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
水田面積 (ha)	3,969	3,961	3,950	3,949	3,944
水稲作付率 (%)	62.01	62.21	62.41	62.86	60.49
主食用水稲の 作付実績 (ha)	2,442	2,437	2,441	2,447	2,386

(2) 大豆、麦、飼料作物及び新規需要米の作付面積の推移 (単位: ha)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
大豆(基幹)	524	536	526	518	535
大豆(二毛作)	214	217	211	216	219
小麦	316	307	288	297	299
飼料作物	67	66	67	80	86
飼料用米	300	305	285	230	252
WCS用稲	37	26	32	31	31
米粉用米	0	0	0	0	0
加工用米	0	0	0	0	0
備蓄米	24	18	23	96	68

(経営所得安定対策等交付実績_水田活用の直接支払交付金)

(3) 土地利用型野菜（地域振興作物）の作付面積の推移（単位：h a）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ばれいしょ	18.6	22.3	20.3	22.7	24.4
ねぎ（青ねぎ・長ねぎ）	3.5	5.5	5.2	6.2	7.1
たまねぎ	2.8	3.4	3.0	2.6	2.9
にんじん	1.3	2.7	2.1	2.6	3.1
キャベツ	3.2	1.0	1.4	0.9	0.3
加工・業務用野菜	0.8	0.6	0.0	0.5	0.0
合計	30.2	35.5	32.0	32.9	37.8

（経営所得安定対策等交付実績_産地交付金）

2 地域が抱える課題

本地域の水田農業が抱える課題は次のとおり

- (1) 農業者の高齢化や戸数の減少に対し、農業の持続性を担保するための担い手の確保、育成
- (2) 社会情勢、農産物需要の変化に応じた生産の促進や流通・販売への対応
- (3) 土地の利用調整による団地化、ブロックローテーションの取組みの維持及び拡大
- (4) 集落営農組織の法人化及び法人化後の経営安定
- (5) 収益性の高い農業経営への転換

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

「水田フル活用による収益性の高い農業」の実現に向け、次のとおり取組方針及び目標を掲げ、実行していくこととする。

<取組方針>

- (1) 土地利用型野菜の産地化の推進
- (2) 麦・大豆の需要に応じた生産の推進
- (3) 新たな販路開拓の推進

<目標>

- (1) 高収益作物（土地利用型野菜等）の生産面積の拡大
- (2) 効率的な生産体制、仕組みの構築
- (3) 契約栽培の取組拡大
- (4) 輸出の取組拡大

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

<取組方針>

- (1) 当協議会が推進する高収益作物（土地利用型野菜等）の生産拡大を目的とする水田の畑地化の推進

<目標>

- (1) 過去の作付実績及び現地確認等により、作付状況や数年間作付実績がないなどの対象農地の点検

(2) 点検結果を踏まえ、関係団体と連携し畑地化支援の検討

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

- ア 米の需要（品種、販路、家庭消費向け及び業務用）に応じた生産を推進する。
- イ 生産者の多様な販売先の獲得を支援する。
- ウ 米価変動の影響が少ない複数年契約による生産を推進する。

(2) 備蓄米

- ・需要に応じた生産を推進する。

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

- ・需要に応じた生産を推進する。
- ・麦、大豆、飼料作物の推進及び土地利用型野菜の産地化を見据え、計画的に推進する。
- ・多収性品種を作付けする場合は、コンタミネーションリスクを回避するため、ほ場固定や機械設備等の取組を推進する。

イ 米粉用米

- ・需要に応じた生産を推進する。

ウ 新市場開拓用米

- ・需要に応じた生産を推進する。

エ WCS用稲

- ・需要に応じた生産を推進する。

オ 加工用米

- ・需要に応じた生産を推進する。

(4) 麦、大豆、飼料作物

- ア 土地利用調整の取組を推進し、団地化及びブロックローテーションの仕組みの維持、拡大を推進する。
- イ 作業効率の向上、低コスト化、さらに品質の高位平準化を推進する。
- ウ 生産量、品種及び品質等、需要に応じた生産を推進する。

(5) そば、なたね

- ア 既存の取組を維持する（なたねについては、取組なし）。

(6) 高収益作物

- ア 水田農業の高収益化の柱として、ばれいしょ、ねぎ（長ねぎ、青ねぎ）、たまねぎ、にんじん及びキャベツ並びに加工・業務用野菜を地域振興作物と位置付けし、土地利用型野菜の生産拡大を図る。
- イ 需要に応じた生産、加工・業務用野菜の生産、定時定量供給の取組を推進する。
- ウ 生産体制の強化のため、組織化、法人化を推進する。

- エ 補助事業等の活用による機械設備等の導入を支援する。
- オ 野菜の需要動向や生産技術等の情報提供を行う。
- カ 実需者とのマッチング等、生産者の販路確保等の取組を推進する。
- キ 契約栽培を推進し、収益の安定化を図る。

5 作物ごとの作付予定面積等

作物等	前年度作付面積等 (ha)	当年度の作付予定面積等 (ha)	令和5年度の作付目標面積等 (ha)
主食用米	2,387.4	2,386.0	2,280.0
備蓄米	68.0	64.7	66.0
飼料用米	253.9	280.0	300.0
米粉用米	0.0	0.0	0.3
新市場開拓用米	1.0	15.0	25.0
WCS用稲	31.8	31.8	40.0
加工用米	0.0	0.0	0.5
麦	299.9	310.0	323.0
大豆(基幹作)	535.9	580.0	590.0
・ミヤギシロメ	243.9	280.0	286.0
大豆(二毛作)	193.3	213.3	239.9
飼料作物(基幹作)	66.4	69.0	71.0
・子実用とうもろこし	0.0	0.0	0.0
飼料作物(二毛作)	19.7	10.2	11.0
・子実用とうもろこし	0.0	0.0	0.0
そば	1.1	1.2	1.3
なたね	0.0	0.0	0.0
高収益作物	143.4	137.4	153.9
・野菜	129.5	123.5	140.0
ばれいしょ	24.4	24.6	25.0
ねぎ(長ねぎ・青ねぎ)	7.1	7.5	9.5
たまねぎ	2.9	3.9	6.0
にんじん	3.1	5.5	6.5
キャベツ	0.3	0.4	0.6
加工・業務用野菜	0.0	0.1	0.3
その他野菜	91.7	81.5	92.1
・花き・花木	1.7	1.7	1.7
・果樹	12.2	12.2	12.2
・その他の高収益作物	0.0	0.0	0.0
その他	2.8	2.8	2.8
・景観形成作物	2.8	2.8	2.8
畑地化	0.0	0.0	0.1

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	目標	
				前年度（実績）	目標値
1	ばれいしょ、ねぎ （長ねぎ・青ねぎ）、たまねぎ、にんじん、キャベツ、 加工・業務用野菜 （基幹作）	地域振興作物助成 【団地加算】	地域振興作物助成 【団地加算】の対象 面積	(令和2年度) 37.8 ha	(令和5年度) 47.9 ha
			ばれいしょの作付面 積	(令和2年度) 24.4 ha	(令和5年度) 25.0 ha
			ねぎ（長ねぎ・青ね ぎ）の作付面積	(令和2年度) 7.1 ha	(令和5年度) 9.5 ha
			たまねぎの作付面積	(令和2年度) 2.9 ha	(令和5年度) 6.0 ha
			にんじんの作付面積	(令和2年度) 3.1 ha	(令和5年度) 6.5 ha
			キャベツの作付面積	(令和2年度) 0.3 ha	(令和5年度) 0.6 ha
			加工・業務用野菜の 作付面積	(令和2年度) 0.0 ha	(令和5年度) 0.3 ha
2	ばれいしょ、ねぎ （長ねぎ・青ね ぎ）、たまねぎ、に んじん、キャベツ、 加工・業務用野菜 （基幹作）	契約栽培加算 【地域振興作物加算】	地域振興作物助成 【団地加算】の対象 面積	(令和2年度) 37.8 ha	(令和5年度) 47.9 ha
			契約栽培加算【地域 振興作物加算】の対 象面積	(令和2年度) 33.8 ha	(令和5年度) 44.0 ha
			地域振興作物助成 【団地加算】に占め る契約栽培加算【地 域振興作物加算】の 対象面積の割合	(令和2年度) 89%	(令和5年度) 92%
3	麦、大豆、飼料作物 （基幹作物）	団地助成 （麦・大豆・飼料作物）	団地助成（麦・大豆・ 飼料作物）の対象と なる団地の平均面積	(令和2年度) 14.8 ha	(令和5年度) 16.0 ha
			小麦の10a 当たり収 量	(令和2年度) 408 kg	(令和5年度) 432 kg
			大豆の10a 当たり収 量	(令和2年度) 237 kg	(令和5年度) 240 kg

			飼料作物の10a当たり労働時間	(令和2年度) 1.37h/10a	(令和5年度) 1.35h/10a
			麦の作付面積	(令和2年度) 299.9 ha	(令和5年度) 323.0 ha
			大豆(基幹作)の作付面積	(令和2年度) 535.9 ha	(令和5年度) 590.0 ha
			飼料作物の作付面積	(令和2年度) 66.4 ha	(令和5年度) 71.0 ha
4	大豆：ミヤギシロメ(基幹作)	指定品種加算	整理番号3の団地助成(麦・大豆・飼料作物)に該当するほ場でのミヤギシロメの作付面積(二毛作含む)	(令和2年度) 243.9 ha	(令和5年度) 286.0 ha
			整理番号3の団地助成(麦・大豆・飼料作物)の対象となる大豆の面積に占めるミヤギシロメの作付割合	(令和2年度) 46%	(令和5年度) 48%
			ミヤギシロメの1等比率	(令和2年度) 79%	(令和5年度) 90%
			ミヤギシロメの10a当たり収量	(令和2年度) 241 kg	(令和5年度) 240 kg
5	麦、大豆、飼料作物、地域振興作物助成【団地加算】の対象作物(ばれいしょ、ねぎ(長ねぎ、青ねぎ)、たまねぎ、にんじん、キャベツ、加工業務用野菜)(二毛作)	二毛作助成	二毛作の取組面積	(令和2年度) 241.7 ha	(令和5年度) 280.0 ha
			戦略作物(麦)後ほ場に対する二毛作大豆の面積割合	(令和2年度) 80%	(令和5年度) 86%
			地域振興区作物助成【団地加算】の対象作物後ほ場に対する二毛作(地域振興作物助成【団地加算】の対象作物)の面積割合	(令和2年度) 3%	(令和5年度) 10%

6	新市場開拓用米	新市場開拓用米 取組助成	新市場開拓用米取組 面積	(令和2年度) 1.0 ha	(令和5年度) 25.0 ha
7	飼料用米、米粉用 米	飼料用米及び米粉用米 の複数年契約加算	飼料用米の複数年契 約取組面積・数量	(令和2年度) 223.9 ha・1,233t	(令和5年度) 247.0 ha・1360t
			飼料用米の作付面 積・数量	(令和2年度) 253.9 ha・1,398t	(令和5年度) 300.0 ha・1,653t
			米粉用米の複数年契 約取組面積・数量	(令和2年度) 0.0 ha・0t	(令和5年度) 0.3 ha・1.5t
			米粉用米の作付面 積・数量	(令和2年度) 0.0 ha・0t	(令和5年度) 0.3 ha・1.5t
8	そば	そばの作付け振興助成	そばの作付面積	(令和2年度) 1.16 ha	(令和5年度) 1.30 ha
9	新市場開拓用米	新市場開拓用米の 作付け助成	新市場開拓用米取組 面積	(令和2年度) 1.0 ha	(令和5年度) 25.0 ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり